

令和2年10月8日会議概要

第1 日時

令和2年10月8日（木）午前9時30分から午後2時までの間

第2 出席者

渡部委員長、平林委員、長谷委員、森委員、森田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 警察本部報告

(1) 令和3年年頭視閲式の開催中止について

総務部長から、新型コロナウイルスの感染状況等に鑑み、令和3年年頭視閲式を中止することについて報告があった。

(2) 京都府警察音楽隊「第31回定期演奏会」の開催について

総務部長から、令和2年12月6日、京都コンサートホールにおいて、京都府警察音楽隊「第31回定期演奏会」を感染症拡大防止対策を講じて開催することについて報告があった。

(3) 捜査費の誤廃棄事案について

総務部長から、令和2年9月14日、警察本部新庁舎への移転作業時に、職員が保管していた捜査費を誤廃棄した事案について報告があった。

委員から「数年前にも鍵を掛けずに机の中に入れていた現金がなくなったという案件があったが、今回の件も含め、通常では考えられないことであるので、しっかりとした管理をしてもらいたい。」旨の発言があった。

他の委員から「現金の管理方法について、そのノウハウをしっかり学び、管理強化に努めていただきたい。」旨の発言があった。

(4) 令和3年度警察官採用にかかるパンフレット（案）について

警務部長から、令和3年度警察官採用にかかるパンフレット（案）の作成について報告があった。

委員から「誰が見るのかということをしっかりと考え、見る方に合わせたものを作っていることが良い。」旨の発言があった。

(5) 第66回警察美術展の開催について

警務部長から、警察職員及びその家族等の生きがい及びワークライフバランスの充実を図るとともに、府民に職員の情緒豊かな一面を披露し、親近感を感じてもらうことにより、警察活動への理解と協力を得ることを目的として、第66回警察美術展を開催することについて報告があった。

委員から「今回は、感染症拡大防止の観点から、作品が展示されないのは残念であるが

、仕方がないことである。」旨の発言があり、警務部長から「例年、入賞者のみがパンフレットに掲載されていたが、今回は応募者全員の作品が掲載されるので、その点は記念になると思われる。」旨の発言があった。

(6) フェイクポルノにかかる著作権法違反等事件の検挙について

生活安全部長から、サイバー犯罪対策課は、人工知能（AI）によるディープラーニング技術を用いて、アダルト動画出演者の顔を別人に改変したポルノ映像を作成の上、インターネット回線を通じて不特定多数の者に公開し、アダルトビデオ制作会社の著作権を侵害するなどしたとして、令和2年10月1日、男1人を検挙したことについて報告があった。

委員から「技術の進化により犯罪の態様も多様化しており、取締りも厳しくなってきていると思われるが、頑張って貰いたい。」旨の発言があった。

(7) 京都市交通局との府民協働防犯ステーション活動の実施について

地域部長から、令和2年10月10日から同年11月9日までの間、下鴨警察署、山科警察署及び右京警察署において、府民協働防犯ステーションの認知度の向上とステーション活動の活性化に資するため、京都市交通局と連携を図り、地域住民等と協働して広報啓発活動を実施することについて報告があった。

委員から「市バスと府警のキャラクターは、それぞれの特徴があって良い。」旨の発言を受け、地域部長から「市バスのキャラクターは、市バス職員の御家族がデザインされたものと聞いている。」旨の回答があった。

(8) 列車内における性犯罪事案の発生状況等について

地域部長から、京都府下における女性専用車両の導入状況と電車内における性犯罪事案の発生状況について報告があった。

委員から「女性専用車両での性犯罪事案の発生は、無いのか。」旨の質問があり、地域部長から「そのとおりである。」旨の回答があった。

(9) 科学捜査研究所専門研究員の博士号（工学）取得について

刑事部長から、科学捜査研究所専門研究員が大学院工学研究科博士後期課程において、最新AI技術を搭載した計算機を用いて改ざん検出の研究を開始し、令和2年9月25日に博士号（工学）を取得したことについて報告があった。

委員から「今後、動画等の証拠について、基本的な考え方が変わってくると思われる。」旨の発言を受け、本部長から「写真については、昔から偽造されたものではないかという話がよく出ていたが、動画については、静止画が連続しているものなので、昔のやり方であれば不可能であった。しかし、今はディープラーニングがあるので、自動的に改ざんすることができる。今回発表したものも別のAIを使い、改ざんの有無を確認する技術となるが、全てが分かるわけではない。」旨の回答があった。

(10) 第50回全国白バイ安全運転競技大会への出場について

交通部長から、令和2年10月10日、11日の2日間、茨城県の自動車安全運転センター安全運転中央研究所において開催される、第50回全国白バイ安全運転競技大会に府警白バイ隊員が出場することについて報告があった。

委員から「トライアルバイクは、府警にも配備されているのか。」旨の質問があり、出席者から「災害出動時に備えて配備されている。」旨の回答があった。

他の委員から「災害等があれば、白バイやトライアルバイクは無くってはならないものであるので、ますます運転技術を磨き活躍していただきたい。」旨の発言があった。

(11) 監察案件

首席監察官から監察事案について報告があった。

2 個別報告

(1) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

3 決裁

(1) 公安委員会宛て苦情等申出について（受理 1 件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、受理の報告があり、処理方針を決定した。

(2) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（2 件）

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者（1 件 1 人）、放置違反金の納付命令を受けた者（1 件 1 人）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の趣旨、理由、原処分の内容等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を裁決した。

4 聴聞

(1) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、19件の行政処分を決定した。

(2) 風俗営業関係行政処分について

公安委員による風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反（2 件 2 人）に対する直接聴聞が実施され、審議の上、行政処分を決定した。